

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	②	職員の配置数は適切である	6			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	・バリアフリーにはできないが、危険なところにはテープやクッション等の安全対策を行っています。	・より一層安全対策を強化して、利用児が過ごしやすい環境を整えていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		療育がスムーズに行えるように、利用児の視界には余計な物は置かないようにしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	設定していません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		内部研修や外部研修を行っています。	コロナの状態が落ち着いたら、外部研修を多く行っていきます。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		定期的にあセスメントを行っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		保護者様の要望を入れながら、取り組んでいます。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		コロナが落ち着かないが、小集団を行うときは、換気を行ったり、間隔をあけたり、消毒の徹底を行いながら、取り組んでいます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	職員間で個別に打ち合わせを行っています。（前日になることもあります。）	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	平日に休みの職員もいるため、連絡帳などを使い、全員に周知しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
関係機関や保護者	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的実施しています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	担当職員ではない職員がサービス担当者会議に出席するときは、担当者に詳しく情報を聞いてから参加する。	今後はシフトの入れ替えなどを行い、担当者が会議に参加できるように工夫をします。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		定期的に訪問しています。	

との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		保護者様の了解を得て、こども園との連携を行っています。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		保護者様の要望で、小学校と一緒にいき、情報を共有しています。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		定期的に訪問して、状況を確認しています。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	こちらから利用児の状況を確認に訪問をしています。	イベントに障害のない子どもの参加が少ないので、今後のイベント情報で参加を促していきます。
保護者への説明責	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			前は参加していたが、コロナが不安定なため、中止しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		利用児が療育に来られてときは、保護者様といろいろなお話をしています。	時間(事業所内相談等)を作り、今後ご家庭の相談に乗っていきます。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
保護者への説明責	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			

任 等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		コロナ前はママ会等を行っていたので、落ち着いたら行っていきます。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		事業所内で児発管や児童指導員等が対応しています。	
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		ツイッターやブログ、Instagram等を使用して、今後も情報を発信していきます。
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		耳などの聞こえない方にもホワイトボード等で対応しています。	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		イベントなどに地域の方をお呼びして、取り組んでいきます。(コロナが落ち着き次第)
非 常 時 等 の 対 応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		食事(おやつ)等はありません。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校

保護者等数（児童数）：8 回収数：6 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					保育士、公認心理士、教員等整えています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2			・バリアフリーと言われると一軒家なので、仕方がない。	・危険な角にはテープや安全なクッションを使用しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		1			コロナ前はイベントに障害のない子どもも参加していたので、落ち着いたら行きます。
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5			1		事業所内相談支援等の時間を設定して、保護者様からのご家族の相談に対応しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1				事業所内相談等を毎月行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		1	2	・コロナが落ち着いたら、ママ会をおこないたい。	・準備をしているので、コロナが落ち着き次第行う予定。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	1				就学前の相談や支援級・普通級の相談、ご家族での対応など、いろいろな相談に対応しています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1				保護者様や利用児と話す時間を取っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			2		ツイッターやブログ、インスタグラム等で情報を発信しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	1				こども園等に個人情報報告を行うときは、必ず保護者様に確認を取っています。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			2		定期的な訓練を実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			2		定期的に行っています。
非 常 時 等 の 対 応	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1				今後も楽しんでいただけるように、個別療育や集団療育、イベントを整えていきます。

満足度	㊸	事業所の支援に満足しているか	5	1				今後も研修や実践を通して、職員の質の向上に努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。